

科目名	観光社会学	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Sociology of Tourism	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	ゆざわ まこと	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	湯澤 真	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	観光が分かれば社会が分かる。社会現象から観光の本質に迫る。～鳥の目で観光を見つめる～				
到達目標	・観光を社会とのつながりから理解できる。 ・現代社会と観光と人、それぞれの関係を自分の興味関心にひきつけて理解することができる。				
授業概要	観光には「ビジネスとしての観光」と「社会現象としての観光」という2つの側面があります。この講義では主に社会現象としての観光を扱います。観光が時代や社会を映す鏡であることを事例とともに解説してゆきます。				
授業計画					
第1回	観光社会学を学ぶ意味 - 社会現象として観光を見る -				
第2回	観光に関わる3者 - 観光客、地域住民、観光を作る人・企業・組織 -				
第3回	大衆観光（マスツーリズム）が生まれた背景				
第4回	マスツーリズムの光と影				
第5回	旅の「商品化」。 - 旅人から旅行者へ。旅行者の観光客化 -				
第6回	観光のまなざし - ジョン・アーリの着眼点 -				
第7回	観光経験の分類 - あなたの旅は気晴らしモード？それとも -				
第8回	観光における本物と偽物 - 大阪・関西万博。表舞台と舞台裏。ブーアスティンとマキヤーネル -				
第9回	観光地のイメージの創出 - メディアによって作られた観光地、沖縄、神戸、京都を例に -				
第10回	デイズニーランド化する観光地とテーマパーク化する都市				
第11回	観光社会学の視点でみた「修学旅行」				
第12回	新しい観光の誕生 - アニメツーリズム、スポーツツーリズム、着地型観光 -				
第13回	観光立国推進基本計画が目指す「稼げる」観光地づくりと地域社会				
第14回	伝統の創造 - 祭の「観光資源化」、「商品化」（「伝承館」と観光客、竿燈まつりとなまはげを例に） -				
第15回	「感情」も商品に - 観光現場における感情労働、観光とパフォーマンス -				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<予習>上記中興味のある用語やテーマを選び、参考文献・資料から情報収集をしてください（60分）。<復習>授業の「受けっぱなし」、「聞きっぱなし」は本当にもったいないことです。授業で疑問に思ったこと、用語、トピックスなどその日のうちに、振り返り、そして調べてみてください（90分）。				
履修条件 受講のルール	「国際観光論入門」とあわせて受講するとより理解が深まります。 授業後に感想質問シートを提出してください（基礎的、初歩的な質問大歓迎です！）。翌週の授業の初めにコメント付きで返却します。授業の冒頭で取り上げて紹介、回答する場合があります。				
テキスト	特定のテキストは使用しません。担当教員が独自の資料を作成し配布します。				
参考文献・資料	安村克己他編著『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房 2011 年 遠藤秀樹他編著『現代観光学 ツーリズムから「いま」がみえる』新曜社 2019 年 J・アーリ『観光のまなざし - 現代社会におけるレジャーと旅行』法政大学出版局 1995 年 D・ブーアスティン『幻影の時代 - マスコミが製造する事実』星野郁美他訳 東京創元新社 1964 年 D・マキヤーネル『ザ・ツーリスト』安村克己他訳 学文社 2012 年				

成績評価の方法	下記評価項目を基にして総合的に判断します。 ①定期試験（40%）、②授業後の感想質問シートの提出（40%）③取り組み姿勢（20%） ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週火曜 3 時限目（13：00～14：30） 毎週木曜 2 時限目（10：40～12：10）
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は旅行会社で 25 年間、営業と企画それに添乗の業務に携わってきました。その中で多くの観光関係者とも仕事をしてきました。この授業は「実務経験者が、観光を通じて社会を眺める」と銘打って、観光現場で起こる出来事を、実務経験＋社会学の視点で読み解いてゆく点に特色があります。
学生へのメッセージ	その時々時代背景から現れ出た現象の一つに観光があります。観光を見ることでその時代、社会、地域が見えてきます。この授業では観光というレンズを通して社会を「のぞき見」することに「挑戦」します。みなさん自身が抱く観光のイメージでいいのでテーマや問いをもって臨んでみてください。